

沼田市の環境施策に関する アンケート実施結果

令和6年6月

目次

1 調査の概要	2
1-1 調査目的	2
1-2 調査期間	2
1-3 調査対象	2
1-4 調査方法	2
2 回答結果概要	3
2-1 回答率	3
2-2 結果の見方について	3
3 市民の回答結果	4
4 事業者の回答結果	14
5 高校生の回答結果	22

1 調査の概要

1-1 調査目的

- 本市の環境施策につきましては、平成26年度に「第二次沼田市環境基本計画」を策定し、現在まで取組を進めてきました。
- 近年は、国内外で地球温暖化対策や生物多様性の保全等について、新たな目標設定や枠組みづくりがされるなど、環境を取り巻く社会情勢は大きく変化してきています。本市においても、令和4年にゼロカーボンシティ宣言を行うなど、環境施策における新たな歩みを進めております。
- このような背景を踏まえ、市では、現行の環境基本計画が令和6年度に計画期間が終了することから、新たな計画を策定すべく、検討を進めることといたしました。
- 本アンケートは、計画策定に係る基礎調査の一環として、市民、事業者、高校生の皆さんの環境に対する考え方や、取組の状況等について調査を行うものです。

1-2 調査期間

令和6年1月～令和6年6月

1-3 調査対象

調査対象は以下の3つの区分に分けて実施

市 民

令和5年12月1日現在で沼田市内に住民票がある全世帯の中から年齢を考慮し抽出した1,000世帯

事 業 者

以下から抽出した200事業所

- 国税庁の法人番号公表サイトのデータを元に市内住所での登記を行っている法人
- 電話帳記載の個人事業主
- 市内住所での登録を行っている認定農業者

高 校 生

利根沼田管内の高校生（沼田高校、沼田女子高校、尾瀬高校、利根実業高校、利根商業高校、沼田特別支援学校高等部）の全生徒

1-4 調査方法

- アンケート調査票を郵送し、郵送による調査票返送またはインターネットの専用フォームへの入力 whicheverにより回答するようお願いしました。
- 高校生に対しては、該当の学校に対してアンケート調査の案内チラシ配布を依頼して、インターネットの専用フォームへの入力による回答をお願いしました。

2 回答結果概要

2-1 回答率

回答数は市民、高校生では発送数の半数を割る結果となった。本アンケートにおいては、対象となる市民を年代別で一定数抽出する方法をとったが、若年層の回答率が低かったことや、高校生の回答方法をウェブフォームに限定したことが影響したと考えられる。市民、事業者ではウェブフォームによる回答よりも郵送による調査票返送の回答の方が多かった。

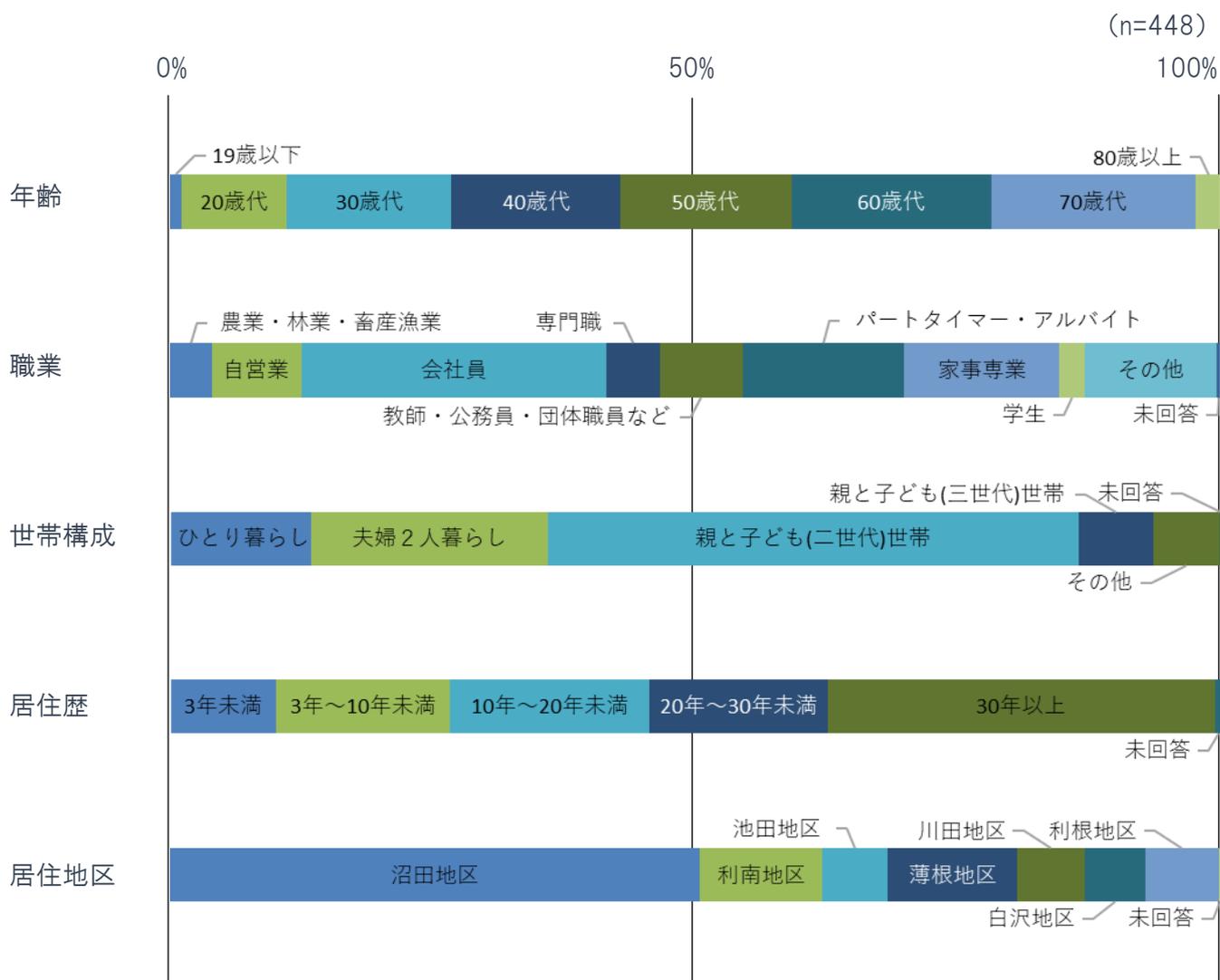
対象者		市民	事業者	高校生
発送数		1,000	200	1,552
回答数	郵送	285	60	—
	ウェブフォーム	163	48	625
	計	448	108	625
回答率		44.8%	54.0%	40.3%

2-2 結果の見方について

- アンケートは「①選択肢を設けた択一の設問」、「②選択肢を設けた複数回答可能な設問」、「③自由記述」の3種類を設けました。
- 「回答率」は有効回答数(n)に対する割合(パーセント表示)にて示しています。②では各割合の合計は100%を上回ります。
- 緑色の網掛けは、値の大小を表し、網掛けが濃い方の値が大きいことを示しています。
- 「指数」は、各選択肢に「配点」を設定し、その加重平均を集計したものです。
- 本アンケートでは、平成25年度に実施したアンケート(前回アンケート)と同じ設問を設定したものがありません。これらの設問では、前回アンケートとの比較を行っています。「変化」は前回アンケートと本アンケートの指数や回答率を比較したものです。前回アンケートからどれだけ意識に変化があったかを示しています。

3 市民の回答結果

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。



問2 あなたは、「第二次沼田市環境基本計画」をご存じですか。当てはまるものを1つ選んでください。

(n=448)

	回答率
よく知っている	1.1%
名称を知っており、内容も大まかに知っている	4.7%
名称を知っているが、内容はわからない	24.1%
名称も内容も知らない	69.6%
未回答	0.4%

「名称も内容も知らない」の回答率が約70%、「名称を知っているが、内容はわからない」の回答が約24%であり、全体として市民の認知度が低い結果であった。

問3 あなたは、環境についての情報や知識をどこから得ていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=448) <年代別内訳>

	回答率	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
テレビ	75.9%	20.0%	33.3%	28.9%	32.4%	28.3%	26.9%	31.5%	34.8%
新聞・雑誌	40.0%	10.0%	6.5%	7.0%	13.5%	15.6%	22.7%	21.2%	30.4%
インターネット記事	52.2%	50.0%	25.9%	30.5%	27.6%	23.3%	16.5%	5.4%	0.0%
書籍	5.8%	0.0%	3.7%	3.2%	2.2%	1.1%	2.5%	2.0%	0.0%
市のホームページ	6.3%	0.0%	1.9%	4.8%	1.6%	1.7%	1.7%	3.4%	0.0%
市の広報誌	29.2%	0.0%	5.6%	5.9%	5.9%	11.1%	15.3%	20.7%	17.4%
企業・団体のホームページ	2.5%	0.0%	1.9%	2.1%	1.1%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
企業・団体の広報	4.7%	0.0%	0.9%	1.1%	1.6%	2.2%	1.7%	2.5%	8.7%
動画配信サービスやSNS	13.4%	10.0%	12.0%	8.6%	5.9%	5.0%	3.3%	1.0%	0.0%
家族や友人・知人	17.2%	10.0%	6.5%	5.3%	7.0%	7.8%	5.8%	8.4%	4.3%
イベントや講演・学習会	3.3%	0.0%	1.9%	1.1%	0.5%	2.2%	1.2%	1.0%	4.3%
その他	3.6%	0.0%	0.0%	1.6%	0.5%	1.7%	1.2%	3.0%	0.0%

回答者全体では「テレビ」が最も多く、次いで「インターネット記事」、「新聞・雑誌」であった。世代別では、「テレビ」が全世代において高い割合であるのに対して、「インターネット記事」は若年層、「新聞・雑誌」は高齢層において高い回答率であった。また、「市の広報誌」についても、主に高齢層において比較的高い回答率であった。

問4 環境保全の取組について、あなたは日頃どの程度実行していますか。それぞれの取組について、当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(n=448)

		いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	していない	未回答	指数	変化
配点		+2	+1	-1	-2	0		
①節電につながる取組や工夫をしている	今回	40.8%	44.4%	10.5%	3.8%	0.4%	+1.1	0.0
	前回	35.0%	50.5%	4.6%	0.9%	9.0%	+1.1	
②節水につながる取組をしている	今回	33.0%	46.0%	15.6%	3.3%	2.0%	+0.9	-0.3
	前回	46.8%	38.3%	4.8%	1.3%	8.8%	+1.2	
③移動手段に徒歩や自転車等を取り入れている	今回	9.4%	17.9%	28.1%	42.4%	2.2%	-0.8	-0.2
	前回	9.4%	22.4%	30.3%	28.8%	9.2%	-0.5	
④移動手段に公共交通機関を取り入れている	今回	3.1%	9.8%	17.6%	66.5%	2.9%	-1.3	-0.3
	前回	4.6%	12.3%	25.3%	48.4%	9.4%	-1.0	
⑤買い物かごやマイ・バッグを持参している	今回	75.0%	14.1%	4.0%	6.5%	0.4%	+1.5	0.8
	前回	25.7%	36.3%	12.3%	17.2%	8.4%	+0.4	
⑥詰め替え商品を選び、使い捨て商品は買わないようにしている	今回	44.9%	40.2%	9.2%	4.7%	1.1%	+1.1	0.5
	前回	25.7%	36.3%	12.3%	17.2%	8.4%	+0.4	
⑦エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選び購入している	今回	6.7%	34.4%	39.1%	18.5%	1.3%	-0.3	-0.2
	前回	5.7%	48.7%	25.9%	10.8%	9.0%	+0.1	
⑧食品や食材は地元で生産されたものを購入するようにしている	今回	17.4%	46.9%	21.4%	12.7%	1.6%	+0.3	-0.1
	前回	12.1%	56.7%	18.0%	4.0%	9.2%	+0.5	
⑨料理の作りすぎに注意し、食べ残しが出ないようにしている	今回	55.4%	32.1%	8.9%	2.2%	1.3%	+1.3	0.4
	前回	21.5%	59.4%	8.4%	1.3%	9.4%	+0.9	
⑩生ごみを堆肥化している	今回	7.1%	7.6%	12.1%	71.9%	1.3%	-1.3	-0.3
	前回	9.5%	13.4%	13.2%	54.1%	9.7%	-0.9	
⑪生ごみは水分を絞ってから出している	今回	50.4%	23.2%	14.7%	9.2%	2.5%	+0.9	0.1
	前回	33.6%	37.0%	9.2%	8.1%	12.1%	+0.8	
⑫食品トレーや乾電池などは店頭回収に出している	今回	19.9%	14.7%	18.3%	46.0%	1.1%	-0.6	-0.3
	前回	18.7%	26.6%	19.1%	26.6%	9.0%	-0.1	
⑬ごみの分別を徹底し、リサイクルに協力している	今回	74.3%	18.8%	4.5%	1.3%	1.1%	+1.6	0.2
	前回	52.8%	33.4%	3.3%	1.3%	9.2%	+1.3	
⑭緑化活動に参加している	今回	3.6%	5.8%	17.9%	71.4%	1.3%	-1.5	—
	前回	—	—	—	—	—	—	
⑮清掃活動に参加している	今回	19.4%	21.0%	18.1%	39.7%	1.8%	-0.4	—
	前回	—	—	—	—	—	—	
⑯環境学習や自然体験等の活動に参加している	今回	1.8%	5.6%	15.0%	76.6%	1.1%	-1.6	—
	前回	—	—	—	—	—	—	

「⑤買い物やマイ・バッグを持参している」、「⑬ごみの分別を徹底し、リサイクルに協力している」に

取り組んでいる回答が特に多く、次いで「⑨料理の作りすぎに注意し、食べ残しが出ないようにしている」、「⑪生ごみは水分を絞ってから出している」が多かった。一方で緑化活動や環境学習への参加、公共交通機関の利用などは取り組んでいるという回答が少なかった。特に前回アンケートとの比較では、「⑤買い物かごやマイ・バッグを持参している」、「⑥詰め替え商品を選び、使い捨て商品は買わないようにしている」、「⑨料理の作りすぎに注意し、食べ残しが出ないようにしている」の取組が増加傾向にある。

問5 あなたは、身近な環境についてどのようにお感じになっていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(n=448)

	回答率		変化
	今回	前回	
非常に快適な環境	4.0%	6.2%	-2.2%
どちらかといえば快適な環境	51.8%	54.7%	-2.9%
どちらともいえない	30.6%	20.6%	10.0%
どちらかといえば快適な環境ではない	9.4%	9.9%	-0.5%
まったく快適な環境ではない	0.7%	2.2%	-1.5%
未回答	3.6%	6.4%	-2.8%

「非常に快適な環境」、「どちらかといえば快適な環境」の回答を合わせると約56%で半数を超えている。前回アンケートとの比較では、これら2つの回答率が減少しており、「どちらともいえない」の回答が増加している。

問6 あなたは身近な環境について、どの程度満足していますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(n=448)

配点		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	未回答	指数	変化
		+2	+1	0	-1	-2	0		
①空気のきれいさ	今回	48.9%	33.7%	12.5%	2.2%	1.6%	1.1%	+1.3	0.1
	前回	43.7%	32.1%	11.0%	2.6%	0.9%	9.7%	+1.2	
②川などの水のきれいさ	今回	31.9%	37.9%	23.0%	4.5%	1.8%	0.9%	+0.9	0.2
	前回	24.6%	35.0%	23.5%	3.7%	3.7%	9.5%	+0.7	
③緑の豊かさ	今回	53.8%	31.3%	11.2%	1.3%	0.4%	2.0%	+1.4	0.2
	前回	45.5%	32.7%	9.9%	1.5%	0.6%	9.9%	+1.2	
④住んでいる地域の静けさ	今回	41.5%	34.4%	16.7%	5.1%	1.1%	1.1%	+1.1	0.2
	前回	34.7%	32.8%	15.2%	5.9%	1.7%	9.7%	+0.9	
⑤自然災害の少なさ	今回	41.7%	25.2%	21.0%	7.6%	3.8%	0.7%	+0.9	-0.4
	前回	56.7%	26.2%	7.7%	1.8%	0.2%	7.3%	+1.4	
⑥地域の景観	今回	28.1%	39.1%	25.2%	4.5%	2.0%	1.1%	+0.9	0.0
	前回	26.1%	38.0%	19.4%	4.0%	1.7%	10.8%	+0.8	
⑦道路や下水道など都市機能の整備状況	今回	11.6%	30.4%	25.9%	19.0%	9.6%	3.6%	+0.2	0.1
	前回	11.0%	24.8%	24.6%	18.3%	11.4%	9.9%	+0.1	
⑧土地や建物の活用状況	今回	5.1%	18.3%	43.5%	19.4%	12.1%	1.6%	-0.1	-
	前回	-	-	-	-	-	-		
⑨公共交通機関の利便性	今回	2.9%	8.7%	33.5%	28.8%	25.2%	0.9%	-0.6	-0.3
	前回	5.9%	13.9%	27.0%	20.4%	22.2%	10.6%	-0.4	
⑩廃棄物の不法投棄の状況	今回	6.9%	17.4%	42.0%	21.9%	10.0%	1.8%	-0.1	0.0
	前回	7.3%	16.1%	38.3%	18.7%	9.4%	10.1%	-0.1	
⑪有害鳥獣による被害状況	今回	7.8%	13.2%	46.2%	17.9%	13.6%	1.3%	-0.2	-0.3
	前回	16.1%	13.9%	35.4%	12.1%	11.4%	11.0%	+0.1	
⑫外来生物による被害状況	今回	9.8%	11.4%	55.4%	12.3%	9.4%	1.8%	+0.0	-
	前回	-	-	-	-	-	-		

「①空気のきれいさ」、「③緑の豊かさ」の満足度が特に高く、次いで「④住んでいる地域の静けさ」が高い。一方で「⑨公共交通機関の利便性」の満足度が特に低かった。前回アンケートとの比較では、「⑤自然災害の少なさ」、「⑨公共交通機関の利便性」、「⑪有害鳥獣による被害状況」の満足度が低下している。

問7 環境問題について、あなたが関心のあるものをすべて選んでください。

(n=448)

	回答率		変化
	今回	前回	
大気汚染	43.5%	49.2%	-5.7%
騒音・振動	22.1%	16.7%	5.4%
水質汚濁	31.0%	26.2%	4.8%
悪臭	21.7%	18.7%	3.0%
有害化学物質	21.7%	16.9%	4.8%
土壌汚染	17.6%	29.5%	-11.9%
水辺環境や水資源	22.5%	23.7%	-1.2%
生物多様性	8.7%	9.5%	-0.8%
自然景観と観光	24.8%	27.5%	-2.7%
希少生物の保護	12.9%	14.3%	-1.4%
ごみの散乱・投棄	36.8%	38.9%	-2.1%
廃棄物の減量	17.4%	16.3%	1.1%
廃棄物処理と処分場	21.2%	17.6%	3.6%
ごみの分別と収集	34.8%	30.1%	4.7%
再使用・リサイクル	29.5%	33.4%	-3.9%
地球温暖化	56.9%	44.6%	12.3%
気候変動	50.0%	44.6%	5.4%
省エネ対策	27.2%	27.9%	-0.7%
再生可能エネルギー利用	24.3%	23.1%	1.2%
建物の断熱化	17.4%	—	—
森林の荒廃と林業	21.4%	20.0%	1.4%
鳥獣による被害	20.5%	25.3%	-4.8%
ゲリラ豪雨等自然災害	35.0%	30.1%	4.9%
食の安全と農業	42.0%	56.7%	-14.7%
外来生物による被害	17.6%	—	—
放射能汚染と除染	18.5%	49.0%	-30.5%

「地球温暖化」、「気候変動」の回答率が半数を超えた他、「大気汚染」、「食の安全と農業」の回答率も高かった。前回アンケートとの比較では、「地球温暖化」の関心が大きく増加した。一方で「放射能汚染と除染」、「食の安全と農業」、「土壌汚染」の関心は減少している。

問 8 あなたは、森林が持つ環境保全等の機能について、どのような働きが特に重要だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=448)

	回答率
豊かでおいしい水を供給する働き	59.4%
落葉などで豊かな土壌を作る働き	23.2%
有機物を供給し、川や海の生き物を育む働き	30.1%
二酸化炭素を吸収する働き	52.7%
森林浴など心身を癒やす働き	21.0%
風や騒音を和らげる働き	5.6%
野生生物の生育・生息地としての働き	29.2%
観光の対象の場としての働き	9.8%
環境教育や体験学習の場としての働き	9.8%
バイオマスエネルギーを供給する働き	5.6%
木材などの工業原料を生産する働き	13.8%

「豊かでおいしい水を供給する働き」、「二酸化炭素を吸収する働き」の回答率が特に高かった。

問 9 あなたは、ごみの減量化対策について、どのような取組が大切だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=448)

	回答率		変化
	今回	前回	
リデュース(減量)の推進	38.4%	27.7%	10.7%
リユース(再利用)の推進	49.3%	33.9%	15.4%
リサイクル(再資源化)の推進	59.4%	51.6%	7.8%
再生商品などの利用促進	24.3%	27.5%	-3.2%
ごみの分別排出の徹底	29.7%	28.4%	1.3%
生ごみの堆肥化と活用	16.5%	24.2%	-7.7%
店頭回収など事業者の協力普及	18.1%	27.9%	-9.8%
ごみ収集の有料化や収集体制	4.7%	6.6%	-1.9%
ごみ減量に係る環境学習の推進	13.4%	13.9%	-0.5%

「リサイクル（再資源化）の推進」の回答率が半数を超えた他、「リユース（再利用）の推進」、「リデュース（減量）の推進」の回答率が比較的高かった。前回アンケートとの比較でも、これら3項目の回答が増加している。一方で「店頭回収など事業者の協力普及」、「生ごみの堆肥化と活用」では回答率が減少している。

問 10 あなたは、市と市民・事業者が協働で環境保全活動を進めていく上で、どの取組が大切だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=448)

	回答率		変化
	今回	前回	
環境教育や学習機会の充実	40.2%	33.8%	6.4%
環境問題や情報の共有化	59.6%	48.1%	11.5%
職場の理解と支援	28.1%	20.0%	8.1%
環境保全活動の機会の充実	32.1%	29.5%	2.6%
市民と事業者の交流機会の充実	18.8%	19.6%	-0.9%
活動を支える団体や人材の育成	37.7%	44.6%	-6.9%

「環境問題や情報の共有化」の回答率が最も高く、半数を超えた。次いで「環境教育や学習機会の充実」、「活動を支える団体や人材の育成」が高かった。前回アンケートとの比較では、「環境問題や情報の共有化」の回答が最も増加した他、「職場の理解と支援」の回答も増加した。

問 11 あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。それとも移りたいと考えていますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

(n=448)

<年代別内訳>

	回答率		変化	19	20	30	40	50	60	70	80
	今回	前回		歳以下	歳代	歳代	歳代	歳代	歳代	歳代	歳以上
今後も住み続けたい	59.8%	66.1%	-6.3%	20.0%	40.0%	58.6%	52.8%	64.4%	64.7%	66.7%	72.7%
市内の他地域へ移りたい	2.5%	4.6%	-2.1%	0.0%	2.2%	0.0%	4.2%	2.7%	4.7%	0.0%	9.1%
他の市町村へ移りたい	11.5%	9.5%	2.0%	20.0%	20.0%	17.1%	6.9%	15.1%	9.4%	5.7%	0.0%
何ともいえない	24.7%	17.1%	7.6%	60.0%	37.8%	24.3%	36.1%	16.4%	15.3%	23.0%	18.2%
未回答	2.2%	2.8%	-0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	5.9%	4.6%	0.0%

「今後も住み続けたい」の回答率が最も高く、約60%であった。年代別で見ると、年代が高くなるほどこの回答率が高い。一方で若年層では「何ともいえない」の回答が高い。前回アンケートとの比較では、「何ともいえない」の回答が増加し、一方で「今後も住み続けたい」の回答が減少している。

問 12 問 11 で「今後も住み続けたい」と回答された方にその理由をたずねます。当てはまるものをすべて選んでください。

	(n=226)			<年代別内訳>								
	回答率		変化	19	20	30	40	50	60	70	80	
	今回	前回		歳以下	歳代	歳代	歳代	歳代	歳代	歳代	歳以上	
自然環境(空気・清流など)が気に入っているから	40.6%	35.3%	5.3%	0.0%	23.7%	18.4%	18.2%	19.6%	18.9%	20.5%	25.0%	
安心・安全なまちだから	38.0%	32.8%	5.2%	33.3%	15.8%	12.6%	13.0%	24.7%	18.0%	19.7%	33.3%	
自然景観・農村風景などが気に入っているから	24.4%	26.9%	-2.5%	0.0%	18.4%	12.6%	15.6%	8.2%	8.2%	13.7%	8.3%	
代々住んでいるところだから	41.7%	38.9%	2.8%	33.3%	10.5%	17.2%	18.2%	21.6%	23.0%	23.1%	8.3%	
生活環境(騒音・悪臭が少ないなど)が快適だから	31.2%	30.0%	1.2%	0.0%	18.4%	13.8%	14.3%	15.5%	16.4%	13.7%	16.7%	
他に移る理由が特にみあたらないから	20.7%	44.7%	-24.0%	0.0%	7.9%	20.7%	15.6%	9.3%	9.0%	1.7%	0.0%	
公共施設などが整っているから	7.9%	10.6%	-2.7%	33.3%	5.3%	0.0%	2.6%	1.0%	5.7%	6.0%	8.3%	
その他	3.4%	3.3%	0.1%	0.0%	0.0%	4.6%	2.6%	0.0%	0.8%	1.7%	0.0%	

問 11 において、「今後も住み続けたい」と回答した人 (n=226) を対象とした設問。「代々住んでいるところだから」、「自然環境(空気・清流など)が気に入っているから」、「安心・安全なまちだから」の回答率が高い。年代別での大きな回答の違いは見られなかった。前回アンケートとの比較では、「他に移る理由が特にみあたらないから」の回答が減少している。

【自由記述】環境問題や本市の環境施策、アンケートの回答の補足などについて、ご意見がありましたらご記入ください。

主な意見の抜粋

【環境施策全般について】

- ・この地域は関東の水瓶でもあるので、良い水を残すために自然と共存する道を選んで欲しい。
- ・全国的に上手くいった環境政策は、少し古いですが「クールビズ」だと思います。内容で差別化が困難な分野だからこそ人々の気分が変わるようなネーミングを意識するのも大切かもしれません。
- ・環境基本計画を知らない。もっと情報発信を盛んにしてみてもいいのでは？
- ・子供たちのためにもっと環境について真剣に大人たちが取り組むべきだと思います。

【自然環境について】

- ・この地域の圧倒的な価値は水であると思います。もっと水に触れる環境を作ることに尽力できれば幸いです。

【廃棄物関係】

- ・衣類の回収をしていただきたい。利根町でもプラスチック類の回収をしていただきたい。
- ・ゴミ収集日に出される可燃ゴミが多い。雑紙の出し方、落ち葉などの堆肥化など、ごみの減量化としてできることがあると思う。
- ・余計な物は購入しない、物を無駄にしない。
- ・小さいころから地域にあったごみの出し方を学校などで教えてほしいです。

【道路・交通関係】

- ・公共交通機関等の利便性が悪い。
- ・道路なのでこぼこや、道路のラインなどを整備して欲しい。

- ・近隣の道路環境を整備してほしい。道が狭いのに側溝に蓋やガードレールがなくとても怖い。老人の車が多くヒヤリハットがかなり多い。
- ・首都の水瓶なのだから、利根沼田から東京に働きに行ける環境整備をしてこそ、地域の維持と自然環境の保全になると考える。
- ・降雪、積雪時の交通環境への対応をもっと充実させるべき。行き届かないところが多すぎる。

【土地利用・生活環境について】

- ・核家族化による敷地面積の広い空き家や農家が増加傾向にあるので、都会の方々にこうした古民家を利用していただく手段を取れないでしょうか。
- ・農地の転用をもっと簡単にできるような取組を行政が主導してやってほしい。農地、森林の保全を行政が主導してやってほしい。空き家、荒れ地のない沼田市をめざしてほしい。
- ・夏に断水になり数日だったがとても気持ちが落ち込んだ。
- ・我が地域では住民より太陽光パネルの数の方が多くなってきております。子、孫の世代になったら人が今より減り、維持管理すらできなくなる日が来るかと思えます。このようなりスク管理までに鑑み、設置の際はしっかりと今後の対策まで決めた上で判断をしていただきたいです。

【環境の体験・学習について】

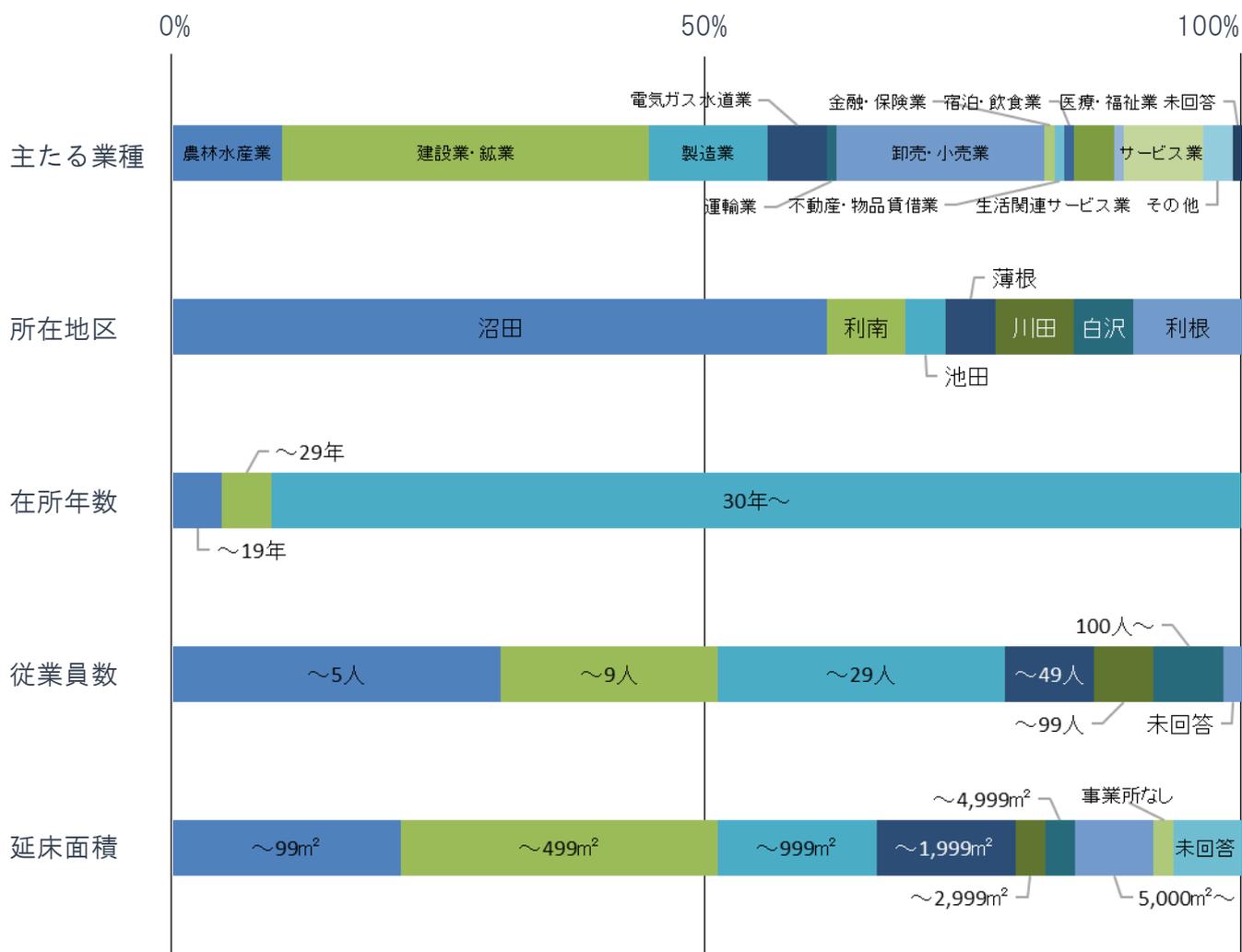
- ・これから担っていく、学生や子供さんとみんなで体験でき学べる取組ができて、企業と取り組めたら継続していけるのでは？
- ・平日では、仕事や学校へ行ってる人は、どんなに良い体験があっても、出られない。

【本アンケートについて】

- ・質問文が堅く、わかりにくい。
- ・沼田市環境基本計画について知らなかったが、本アンケートで知ることができた。

4 事業者の回答結果

問1 貴事業所について、それぞれの当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。



問 2 貴事業所が事業活動を行う上で、環境保全の重要性は 10 年前と比較してどう変化していると感じていますか。当てはまるものを 1 つ選び、印をつけてください。

(n=108)

	回答率
重要性は高まっていると感じる	80.6%
重要性はあまり変化していないと感じる	15.7%
重要性は低くなっていると感じる	0.0%
わからない	3.7%
未回答	0.0%

「重要性は高まっていると感じる」の回答率が 80%を超えた。また、「重要性は低くなっていると感じる」の回答はなかった。

問 3 貴事業所は、環境についての情報をどこから得ていますか。当てはまるものすべてに印をつけてください。

(n=108)

	回答率
テレビ	73.1%
一般の新聞・雑誌	58.3%
業界向けの新聞や雑誌	44.4%
書籍	10.2%
市のホームページ	9.3%
市の広報誌	17.6%
他企業・団体のホームページ	13.0%
インターネット記事	45.4%
動画配信サービスやSNS	7.4%
他企業・団体の広報	18.5%
イベントや講演・学習会	17.6%
その他	6.5%

「テレビ」の回答率が 70%を超えた他、「一般の新聞・雑誌」、「インターネット記事」、「業界向けの新聞や雑誌」が半数近い回答率であった。

問4 環境保全の取組について、貴事業所は日頃どの程度実行していますか。それぞれの取組について、当てはまるものを1つ選んでください。

(n=108)

		積極的に 取り組ん でいる	ある程度 取り組ん でいる	今後取り 組みたい	取り組む 予定はな い	事業とあ まり関係 が無い	未回答	指数	変化
配点		+2	+1	-1	-2	0	0		
①空調、照明等の適正管理による 日常的な省エネ行動	今回	34.3%	50.0%	4.6%	2.8%	7.4%	0.9%	+1.1	-0.2
	前回	51.6%	32.8%	7.0%	0.0%	1.6%	7.0%	+1.3	
②省エネ機器、設備の導入	今回	16.7%	47.2%	21.3%	6.5%	8.3%	0.0%	+0.5	0.3
	前回	16.4%	28.1%	38.3%	2.3%	7.0%	7.8%	+0.2	
③省エネに配慮した事業所の建物構造 (自然採光・通風・断熱等)	今回	6.5%	27.8%	35.2%	17.6%	11.1%	1.9%	-0.3	-0.2
	前回	15.6%	17.2%	46.1%	7.0%	7.0%	7.0%	-0.1	
④太陽光発電設備の導入	今回	11.1%	6.5%	32.4%	38.0%	12.0%	0.0%	-0.8	0.2
	前回	4.7%	3.1%	41.4%	36.7%	6.3%	7.8%	-1.0	
⑤太陽光発電以外の再エネ設備の導入 (太陽熱、風力、バイオマス等)	今回	4.6%	4.6%	23.1%	50.9%	15.7%	0.9%	-1.1	-0.1
	前回	1.6%	2.3%	39.8%	35.2%	12.5%	8.6%	-1.0	
⑥電力・燃料使用量の把握と従業員への周知	今回	14.8%	33.3%	33.3%	13.0%	5.6%	0.0%	+0.0	
	前回	—	—	—	—	—	—		
⑦ペーパーレス化の推進	今回	13.9%	39.8%	27.8%	10.2%	7.4%	0.9%	+0.2	-0.8
	前回	42.2%	33.6%	13.3%	3.9%	1.6%	5.5%	+1.0	
⑧再生紙・再生製品の活用などの グリーン購入の推進	今回	14.8%	41.7%	27.8%	6.5%	9.3%	0.0%	+0.3	-0.4
	前回	31.3%	34.4%	19.5%	3.1%	4.7%	7.0%	+0.7	
⑨製品・商品販売に伴う 容器・包装材の減量化	今回	6.5%	24.1%	25.0%	8.3%	36.1%	0.0%	-0.0	-0.2
	前回	11.7%	21.1%	23.4%	3.1%	33.6%	7.0%	+0.1	
⑩間伐材や未利用資源を利用した 製品の積極的な活用	今回	6.5%	19.4%	38.0%	10.2%	25.9%	0.0%	-0.3	-0.3
	前回	12.5%	17.2%	26.6%	5.5%	30.5%	7.8%	+0.0	
⑪事業活動に伴う廃棄物の減量化の推進	今回	13.9%	50.9%	26.9%	2.8%	5.6%	0.0%	+0.5	0.1
	前回	21.1%	31.3%	28.9%	2.3%	9.4%	7.0%	+0.4	
⑫食品残渣などの資源化	今回	4.6%	12.0%	29.6%	15.7%	38.0%	0.0%	-0.4	-0.1
	前回	2.3%	4.7%	21.9%	10.9%	50.8%	9.4%	-0.3	
⑬資源回収やリサイクルルートの確保	今回	18.5%	39.8%	24.1%	6.5%	10.2%	0.9%	+0.4	0.2
	前回	18.0%	14.8%	24.2%	3.9%	32.8%	6.3%	+0.2	
⑭エコドライブの推進・奨励	今回	12.0%	38.0%	37.0%	8.3%	4.6%	0.0%	+0.1	-0.3
	前回	23.4%	21.6%	21.6%	3.6%	26.1%	3.6%	+0.4	
⑮ハイブリッド車、電気自動車の導入と利用	今回	11.1%	21.3%	36.1%	25.0%	6.5%	0.0%	-0.4	0.0
	前回	5.4%	12.6%	55.0%	5.4%	18.0%	3.6%	-0.4	
⑯物流の合理化の推進	今回	5.6%	20.4%	38.0%	11.1%	25.0%	0.0%	-0.3	-0.4
	前回	12.5%	13.3%	14.1%	7.8%	45.3%	7.0%	+0.1	
⑰緑化活動の実施	今回	10.2%	19.4%	32.4%	21.3%	15.7%	0.9%	-0.4	
	前回	—	—	—	—	—	—		
⑱事業所とその周辺の清掃活動	今回	10.2%	55.6%	24.1%	8.3%	1.9%	0.0%	+0.4	
	前回	—	—	—	—	—	—		
⑲環境をテーマとした社会貢献活動の実施	今回	10.2%	18.5%	42.6%	22.2%	5.6%	0.9%	-0.5	
	前回	—	—	—	—	—	—		
⑳従業員に対する環境教育の実施	今回	8.3%	26.9%	42.6%	16.7%	5.6%	0.0%	-0.3	
	前回	—	—	—	—	—	—		

「①空調、照明等の適正管理による日常的な省エネ行動」の指数が最も高く、次いで「②省エネ機器、設備の導入」、「⑩事業活動に伴う廃棄物の減量化の推進」が高かった。一方で「⑤太陽光発電以外の再エネ設備の導入」、「④太陽光発電設備の導入」については指数が低かった。前回アンケートとの比較では、「⑦ペーパーレス化の推進」が最も減少した。

問5 貴事業所が環境保全に取り組んだことで得られた効果について、当てはまるものすべてに印をつけてください。

(n=108)

	回答率
企業イメージの向上	33.3%
業務コストの削減	43.5%
製品・サービスの品質向上	4.6%
製品・サービスの売上向上	7.4%
従業員の環境意識の向上	41.7%
従業員の労働環境の向上	25.0%

「業務コストの削減」が最も高く、次いで「従業員の環境意識の向上」が高かった。

問6 貴事業所が環境活動に取り組むに当たり、どのようなことが課題となっていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=108)

	回答率
消費者・利用者の環境に対する理解	18.5%
取引先の環境に対する理解	17.6%
従業員の環境に対する理解	23.1%
環境に関する情報の不足	15.7%
費用の増加	60.2%
人材不足	39.8%
環境の取組に対する市場評価の低さ	9.3%
環境活動推進のための組織体制の整備	10.2%
企業間の協力・連携体制	14.8%
国や自治体の支援の不足	30.6%

「費用の増加」が最も高く、約60%であった。次いで「人材不足」、「国や自治体の支援の不足」が高かった。

問7 貴事業所の事業活動に影響のある環境の取組は何ですか。特に当てはまるものを3つ選んでください。

(n=108)

	回答率		変化
	今回	前回	
産業廃棄物の抑制	53.7%	32.0%	21.7%
事業系ごみの発生抑制	38.9%	38.3%	0.6%
事業系ごみの分別・リサイクル	50.0%	46.9%	3.1%
有害化学物質の使用・排出の抑制	12.0%	9.4%	2.6%
水質汚濁の抑制	11.1%	20.3%	-9.2%
土壌汚染の抑制	5.6%	9.4%	-3.8%
騒音・振動の抑制	17.6%	18.0%	-0.4%
悪臭の抑制	3.7%	6.3%	-2.6%
放射能汚染への対応	0.0%	20.3%	-20.3%
省資源・省エネルギー対策	28.7%	45.3%	-16.6%
温室効果ガスの排出抑制	11.1%	14.1%	-3.0%
事業所内や周辺の緑化	13.9%	18.0%	-4.1%
再生可能エネルギーの導入	8.3%	32.8%	-24.5%
森林の保全	10.2%	—	—
その他	5.6%	3.9%	1.7%

「産業廃棄物の抑制」、「事業系ごみの分別・リサイクル」の回答が半数を超えたほか、「事業系ごみの発生抑制」の回答率が高かった。前回アンケートとの比較では、「産業廃棄物の抑制」の回答が最も増加している一方、「再生可能エネルギーの導入」、「放射能汚染への対応」、「省資源・省エネルギー対策」の回答が減少した。

問8 本市が事業所向けに環境に関する情報発信を行う方法で、貴事業所が希望するものは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=108)

	回答率
市のホームページ	43.5%
市の広報誌	51.9%
情報発信メール	21.3%
市のSNSによる発信	26.9%
事業者が加入する団体を通じた周知	27.8%
マスメディアを通じた発信	17.6%
イベントを通じた周知	15.7%
郵送物による周知	18.5%
その他	3.7%

「市の広報誌」、「市のホームページ」の回答が多く、半数程度の回答であった。

問9 市や市民による環境保全活動への協力について、貴事業所はどのように考えていますか。3つまで選んでください。

(n=108)

	回答率		変化
	今回	前回	
業務に関わらず積極的に協力したい	17.6%	22.7%	-5.1%
業務に関連する活動なら進んで協力したい	46.3%	45.3%	1.0%
市や地域から要請があれば協力したい	50.9%	64.1%	-13.2%
商店街や区から依頼があれば協力したい	24.1%	24.2%	-0.1%
関連事業所や団体が参加すれば協力したい	32.4%	33.6%	-1.2%
多数の従業員の意向であれば協力したい	13.9%	6.3%	7.6%
従業員個人の活動への参加は支援したい	13.9%	18.8%	-4.9%
参加や協力をするつもりはない	1.9%	1.6%	0.3%

「市や地域から要請があれば協力したい」、「業務に関連する活動なら進んで協力したい」の回答が多く半数程度であった。前回アンケートとの比較では、「多数の従業員の意向であれば協力したい」の回答が増加した。一方で「市や地域から要請があれば協力したい」の回答は減少している。

問 10 貴事業所では沼田市に環境の保全及び改善のために、どのような取組を積極的に実施してほしいと考えていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=108)

	回答率		変化
	今回	前回	
環境教育や環境学習の推進	25.9%	30.5%	-4.6%
環境保全に関する技術的指導や講習会の実施	17.6%	10.9%	6.7%
環境保全対策や取組の先進事例の提供	17.6%	21.9%	-4.3%
環境に関する情報の充実と提供	20.4%	25.0%	-4.6%
家庭ごみの削減対策	14.8%	21.1%	-6.3%
ごみの分別やリサイクルの推進	26.9%	28.1%	-1.2%
事業系ごみの削減対策への支援	32.4%	21.9%	10.5%
産業廃棄物の不法投棄の削減及び監視	24.1%	18.8%	5.3%
放射性物質の除染対策の推進	2.8%	12.5%	-9.7%
自然災害への対応	40.7%	25.8%	14.9%
森林の整備	27.8%	20.3%	7.5%
農林水産資源の活用、地産地消の推進	24.1%	12.5%	11.6%
公害対策への支援	3.7%	10.9%	-7.2%
公共交通機関の利便性の向上	14.8%	14.8%	0.0%
道路交通網の整備等交通渋滞の解消	16.7%	23.4%	-6.7%
事業所内や周辺の緑化対策への支援	10.2%	10.2%	0.0%
温室効果ガス排出抑制対策への支援	10.2%	7.8%	2.4%
再生可能エネルギー設備導入の支援	25.0%	32.0%	-7.0%
省エネルギー化に対する支援	23.1%	—	—
事業所が行うべき環境配慮の指針の作成	9.3%	—	—
業務のデジタル化に対する支援	17.6%	—	—
環境活動を実施している事業所への優遇措置	15.7%	—	—
事業所間の意見交換の場の設定	2.8%	—	—
事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催	8.3%	—	—
SDGs（持続可能な開発目標）の推進と支援	22.2%	—	—

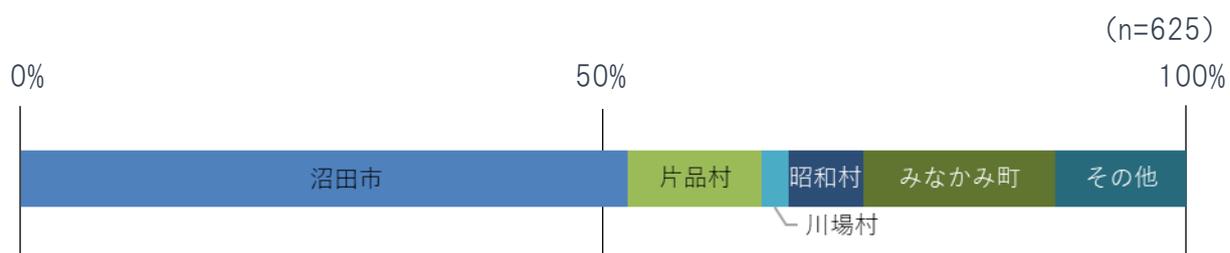
「自然災害への対応」の回答率が最も高く、約40%であった。前回アンケートの比較でもこの項目が最も増加している。また、「農林水産資源の活用、地産地消の推進」、「事業系ごみの削減対策への支援」の回答も増加している。一方で「放射性物質の除染対策の推進」、「公害対策への支援」、「再生可能エネルギー設備導入の支援」、「道路交通網の整備等交通渋滞の解消」、「家庭ごみの削減対策」の回答は減少している。

【自由記述】環境問題や本市の環境施策、アンケートの回答の補足などについて、ご意見がありましたらご記入ください。

- 太陽光や環境設備は、表面的には良い数値が発表されるが、それができるプロセスにおいてCO₂が発生しているケースがあり、トータルでその数値を把握すべきであると考えます。したがって必ずしもその設備が環境に良いとはかぎらない場合があるのでよく議論すべき。
- まず身近なことから始めるのも大切だと思います。テラス沼田はエレベーターが4基ありますが南エレベーターなどは時間により1基の運転でもよいのではないのでしょうか。職員の方を除いては普通にみなさんエレベーターを利用していますが健康の為に健康な方は、一階から3階くらいまでは歩くように市民や外部の方たちにわかるようにエレベーター前にお知らせしてCO₂を削減し、健康維持も出来るようにすべきだと思います。1階から3階専用も便利ですが無くてもよいようにも思います。階段にたとえば絵画とか歩く事が楽しくなる工夫があると歩くのも苦痛ではなくなりますね。
- 私は印刷業なのでペーパーレスや資源関係をアンケートされてもどう返したらいいか困ります。出来れば事業所の種類等の配慮して頂けるとありがたいです。
- 雪が降った時の除雪を早い対応でお願いしたい。
- 河川整備と河川の有効活用(魚を育てる等)
- 必要性、重要性のない市民への配布物はいらない。広報もデジタル化し、必要部数だけにすべき。
- 3だけ主義の社長や低価格重視の(会社・一般市民)ばかりで廃棄物を扱っている弊社では、年間、一回も「リサイクルをしますか？」と聞かれたことはありません。不法投棄でも、適正処理をしても、安価な所に廃棄物は流れていきます。(公共工事以外)よって沼田市の人々は、環境問題に対して、興味ない人がほとんどです。この状況を変える為には対策を考えなければいけないと思います。

5 高校生の回答結果

問1 あなたの住んでいる場所で当てはまるものを1つ選んでください。



問2 環境保全の取組について、あなたは日頃どの程度実行していますか。それぞれの取組について、当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(n=625)

		いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	していない	未回答	指数	変化
配点		+2	+1	-1	-2	0		
①照明器具や電気機器のスイッチをこまめにオフにしている	今回	43.0%	45.0%	11.0%	1.0%	0.0%	+1.3	0.2
	前回	21.9%	68.9%	6.9%	1.2%	1.2%	+1.0	
②使用していない家電製品はコンセントのプラグを抜いている	今回	22.0%	30.0%	33.0%	15.0%	0.0%	+0.1	-0.3
	前回	15.9%	47.4%	26.8%	8.6%	1.3%	+0.4	
③シャワーや水道の水を出しっぱなしにしないようにしている	今回	70.0%	21.0%	6.0%	3.0%	0.0%	+1.5	0.5
	前回	33.5%	51.9%	9.8%	3.3%	1.5%	+1.0	
④買い物かごやマイ・バッグを持参している	今回	51.0%	25.0%	11.0%	13.0%	0.0%	+0.9	1.1
	前回	10.1%	37.4%	24.5%	26.5%	1.6%	-0.2	
⑤詰め替え商品を選び、使い捨て商品は買わないようにしている	今回	34.0%	45.0%	16.0%	5.0%	0.0%	+0.9	0.4
	前回	18.9%	51.7%	18.7%	8.7%	2.0%	+0.5	
⑥エコマーク商品など、環境にやさしい商品を選び購入している	今回	8.0%	27.0%	50.0%	15.0%	0.0%	-0.3	0.1
	前回	3.0%	35.5%	37.0%	22.6%	1.9%	-0.4	
⑦食べ残しが出ないようにしている	今回	55.0%	35.0%	8.0%	1.0%	1.0%	+1.5	0.4
	前回	33.8%	54.2%	7.2%	2.6%	2.3%	+1.1	
⑧ポイ捨てをしないようにしている	今回	89.0%	7.0%	3.0%	0.0%	1.0%	+1.9	0.4
	前回	60.0%	34.3%	1.6%	1.9%	2.3%	+1.5	
⑨ごみの分別を徹底し、リサイクルに協力している	今回	50.0%	35.0%	14.0%	0.0%	1.0%	+1.3	0.5
	前回	21.9%	61.6%	9.8%	5.0%	1.7%	+0.9	
⑩自然環境や生物について自主学習している	今回	27.0%	22.0%	31.0%	20.0%	0.0%	-0.4	—
	前回							
⑪地球温暖化や気候変動について自主学習している	今回	17.0%	20.0%	36.0%	27.0%	0.0%	-0.6	—
	前回							
⑫その他の環境問題について自主学習している	今回	15.0%	25.0%	34.0%	26.0%	0.0%	-0.7	—
	前回							
⑬緑化活動に参加している	今回	10.0%	18.0%	33.0%	39.0%	0.0%	-1.0	-0.1
	前回	3.4%	23.3%	24.2%	46.9%	2.1%	-0.9	
⑭清掃活動に参加している	今回	18.0%	32.0%	25.0%	25.0%	0.0%	-0.3	0.6
	前回	3.4%	23.3%	24.2%	46.9%	2.1%	-0.9	
⑮環境学習や自然体験等の活動に参加している	今回	26.0%	22.0%	28.0%	24.0%	0.0%	-0.9	0.4
	前回	2.0%	12.5%	19.5%	64.4%	1.7%	-1.3	

「⑧ポイ捨てをしないようにしている」、「③シャワーや水道の水を出しっぱなしにしないようにしている」、「⑦食べ残しが出ないようにしている」に取り組んでいる回答が特に多かった。⑩～⑫の自主学習や⑬～⑮の活動への参加については取り組んでいる回答は少なかったが、その中では、⑩、⑮の自然環境

や自然体験に関する取組の回答が比較的多かった。前回アンケートとの比較では、全体的に改善傾向がみられ、中でも「④買い物かごやマイ・バッグを持参している」の回答は大きく増加した。

問3 あなたは、環境についての情報や知識をどこから得ていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=625)

	回答率
学校の授業	79.7%
テレビ	81.6%
新聞・雑誌	13.8%
インターネット記事	63.2%
市のホームページ	2.7%
市の広報誌	2.4%
家族	28.2%
友人・知人	20.0%
動画配信サービスやSNS	41.8%
書籍	8.5%
イベントや講演・学習会	9.1%
その他	3.2%

「テレビ」、「学校の授業」、「インターネット記事」の回答が特に多かった。他にも、「動画配信サービスやSNS」の回答が4割を超える一方で「市のホームページ」、「市の広報誌」の回答が少ないといった、若年世代特有の結果が見られた。

問4 あなたは、身近な環境についてどのようにお感じになっていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(n=625)

	回答率		変化
	今回	前回	
非常に快適な環境	21.6%	25.0%	-3.4%
どちらかといえば快適な環境	49.0%	47.3%	1.7%
どちらともいえない	23.5%	18.0%	5.5%
どちらかといえば快適な環境ではない	3.8%	4.4%	-0.6%
まったく快適な環境ではない	2.1%	0.9%	1.2%
未回答	0.0%	4.4%	-4.4%

「非常に快適な環境」、「どちらかといえば快適な環境」の回答を合わせると70%を超えている。前回アンケートとの比較では、「非常に快適な環境」の回答率が減少しており、「どちらともいえない」の回答が増加している。

問5 あなたは身近な環境について、どの程度満足していますか。それぞれの項目について、当てはまるものを1つ選んでください。

(n=625)

配点		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	未回答	指数	変化
		+2	+1	0	-1	-2	0		
①空気のきれいさ	今回	66.0%	27.0%	5.0%	1.0%	1.0%	0.0%	+1.6	0.1
	前回	58.9%	30.7%	7.7%	0.9%	0.1%	1.6%	+1.5	
②川などの水のきれいさ	今回	64.0%	20.0%	14.0%	1.0%	1.0%	0.0%	+1.5	0.3
	前回	40.7%	35.5%	17.6%	3.6%	1.1%	1.6%	+1.1	
③緑の豊かさ	今回	74.0%	23.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+1.7	0.2
	前回	60.5%	26.9%	9.4%	0.9%	0.4%	1.9%	+1.5	
④住んでいる地域の静けさ	今回	68.0%	23.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+1.6	0.3
	前回	48.2%	34.6%	11.8%	2.9%	1.3%	1.2%	+1.3	
⑤自然災害の少なさ	今回	62.0%	16.0%	20.0%	2.0%	0.0%	0.0%	+1.4	-0.1
	前回	59.9%	26.0%	10.7%	1.7%	0.1%	1.6%	+1.4	
⑥地域の景観	今回	59.0%	22.0%	15.0%	1.0%	3.0%	0.0%	+1.3	0.4
	前回	32.7%	35.9%	24.0%	4.0%	1.3%	2.1%	+0.9	
⑦道路や下水道など都市機能の整備状況	今回	37.0%	27.0%	29.0%	5.0%	1.0%	1.0%	+0.9	0.3
	前回	24.1%	33.9%	28.9%	7.8%	3.0%	2.3%	+0.7	
⑧土地や建物の活用状況	今回	19.0%	31.0%	28.0%	15.0%	6.0%	1.0%	+0.4	—
	前回								
⑨公共交通機関の利便性	今回	7.0%	22.0%	20.0%	24.0%	27.0%	0.0%	-0.4	-0.2
	前回	8.7%	20.5%	23.6%	27.2%	18.0%	2.0%	-0.3	
⑩廃棄物の不法投棄の状況	今回	12.0%	23.0%	33.0%	24.0%	7.0%	1.0%	+0.1	—
	前回								
⑪有害鳥獣による被害状況	今回	13.0%	27.0%	48.0%	11.0%	1.0%	0.0%	+0.4	—
	前回								
⑫外来生物による被害状況	今回	10.0%	21.0%	54.0%	13.0%	2.0%	0.0%	+0.2	—
	前回								

「①空気のきれいさ」、「②川などの水のきれいさ」、「③緑の豊かさ」、「④住んでいる地域の静けさ」、「⑤自然災害の少なさ」の満足度が特に高かった。一方で「⑨公共交通機関の利便性」の満足度が低かった。前回アンケートとの比較では、全体的に満足度が上昇傾向にある。

問6 環境問題について学習する機会があったら、どのようなテーマについて学習したいですか。当てはまるものすべてに印をつけてください。

(n=625)

	回答率		変化
	今回	前回	
地球温暖化問題	53.4%	48.9%	4.5%
異常気象や自然災害	29.3%	17.1%	12.2%
再生可能エネルギー	30.7%	22.8%	7.9%
未利用エネルギー	11.8%	4.8%	7.0%
大気・水質・土壌の汚染	17.6%	28.6%	-11.0%
騒音や悪臭等の生活環境	9.0%	5.6%	3.4%
野生生物や生息環境	31.4%	18.0%	13.4%
森林の保護や整備	18.1%	—	—
水辺環境や水資源	11.0%	—	—
ごみ問題・廃棄物対策	22.2%	12.7%	9.5%
リサイクル	15.4%	11.4%	4.0%
その他	2.6%	11.4%	-8.8%

「地球温暖化問題」の回答が特に多く、半数を超えた。他にも、「異常気象や自然災害」、「再生可能エネルギー」、「野生生物や生息環境」の回答が高かった。前回アンケートとの比較では、「異常気象や自然災害」、「野生生物や生息環境」、「ごみ問題・廃棄物対策」の回答が大きく増加した。一方で「大気・水質・土壌の汚染」の回答は減少している。

問7 あなたは、森林が持つ環境保全等の機能について、どのような働きが特に重要だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=625)

	回答率
豊かでおいしい水を供給する働き	62.2%
落葉などで豊かな土壌を作る働き	23.5%
有機物を供給し、川や海の生き物を育む働き	30.1%
二酸化炭素を吸収する働き	49.4%
森林浴など心身を癒やす働き	17.0%
風や騒音を和らげる働き	8.3%
野生生物の生育・生息地としての働き	35.2%
観光の対象の場としての働き	9.8%
環境教育や体験学習の場としての働き	9.6%
バイオマスエネルギーを供給する働き	7.4%
木材などの工業原料を生産する働き	5.1%

「豊かでおいしい水を供給する働き」、「二酸化炭素を吸収する働き」の回答率が特に高かった。他にも「有機物を供給し、川や海の生き物を育む働き」、「野生生物の生育・生息地としての働き」の回答率も高かった。

問 8 あなたは、ごみの減量化対策について、どのような取組が大切だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=625)

	回答率
リデュース(減量)の推進	60.3%
リユース(再利用)の推進	61.8%
リサイクル(再資源化)の推進	65.0%
再生商品などの利用促進	18.7%
ごみの分別排出の徹底	23.8%
生ごみの堆肥化と活用	15.7%
店頭回収など事業者の協力普及	7.7%
ごみ収集の有料化や収集体制	5.4%
ごみ減量に係る環境学習の推進	10.1%

「リデュース（減量）の推進」、「リユース（再利用）の推進」、「リサイクル（再資源化）の推進」の回答率が特に高く、いずれも60%を超えた。

問 9 あなたは、市と市民・事業者が協働で環境保全活動を進めていく上で、どの取組が大切だと思いますか。3つまで選んでください。

(n=625)

	回答率
環境教育や学習機会の充実	57.6%
環境問題や情報の共有化	57.8%
職場の理解と支援	39.7%
環境保全活動の機会の充実	34.2%
市民と事業者の交流機会の充実	23.5%
活動を支える団体や人材の育成	28.6%

「環境教育や学習機会の充実」、「環境問題や情報の共有化」の回答率が最も高く、半数を超えた。

問 10 あなたは、現在お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。それとも移りたいと考えていますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

	回答率		変化
	今回	前回	
今後も住み続けたい	37.1%	32.2%	4.9%
市内の他地域へ移りたい	9.0%	4.3%	4.7%
他の市町村へ移りたい	22.2%	24.3%	-2.1%
何ともいえない	30.9%	39.2%	-8.3%
未回答	0.8%	—	—

「今後も住み続けたい」の回答率が最も高く、次いで「何ともいえない」、「市内の他地域へ移りたい」の回答が多かった。前回アンケートとの比較では、「今後も住み続けたい」、「市内の他地域へ移りたい」の回答が増加している。

問 11 問 10 で「今後も住み続けたい」と回答された方にその理由をたずねます。当てはまるものをすべて選んでください。

(n=232)

	回答率		変化
	今回	前回	
自然環境(空気・清流など)が気に入っているから	60.8%	43.0%	17.8%
安心・安全なまちだから	66.4%	—	—
自然景観・農村風景などが気に入っているから	34.5%	22.5%	12.0%
代々住んでいるところだから	23.7%	18.5%	5.2%
生活環境(騒音・悪臭が少ないなど)が快適だから	29.3%	—	—
他に移る理由が特にみあたらないから	27.6%	48.0%	-20.4%
公共施設などが整っているから	4.7%	7.0%	-2.3%
その他	3.0%	4.0%	-1.0%

問 10 において、「今後も住み続けたい」と回答した人 (n=232) を対象とした設問。「自然環境(空気・清流など)が気に入っているから」、「安心・安全なまちだから」の回答率が特に高く60%を超えた。前回アンケートとの比較では、「他に移る理由が特にみあたらないから」の回答が減少している。

【自由記述】環境問題や本市の環境施策、アンケートの回答の補足などについて、ご意見がありましたらご記入ください。

主な意見の要約・抜粋

- 歩道の整備ができていないところが多々見られる。
- これらの具体的な活動や意見を直に聞いてみたい。
- 地域によってゴミ捨て場の整備が不十分なところがたくさんあると感じたので小屋のような開閉可能なゴミ捨て場を設置してもらいたい。
- 環境については今後沢山の知識が必要になってくると思うので、もっと沢山の知識を深く広く知りた
いと思っています
- 高校を卒業後一度はこの町を進学のため離れるがまた戻ってきたい。
- 太陽光発電は本当にやめてほしい。実は環境に悪いなんて周知の事実なのに、まるで環境に良いもの
のようにあちこちで始めているのが信じられない。
- タバコ等がときどき町に落ちているところをよく見かけます。タバコのポイ捨てを改善したほうが良
いと思います。
- 特定外来生物の規則の見直し検討してほしい。
- 不便
- 今後も地域の環境問題について知りたいと思った。
- とても気持ちの良い回答をすることができた。
- 自分の街はきれいです。
- ごみの分別をしっかりしようと思った。
- 環境とかよりも、町にもっと飲食店や娯楽施設などを増やして欲しい。
- 町はコンビニ少ない、交通面に問題がある。
- 環境問題の原因はニンゲン野生動物に襲われても致し方なし。共存を目指すべき。問題はこれから。